

# 市議会だより



かみたのキッズクラブ



秩父市イメージキャラクター

ポテくまん

## 3月定例会

- 5年度各会計予算を可決  
一般会計 296億7000万円  
特別会計 154億1835万円  
公営企業会計 52億2499万円
- 一般会計補正予算を承認・可決  
(出産・子育て応援給付金)

荒川東・荒川西・影森小の  
児童が集まって  
いっしょに 過ごしています  
ちがう学校や 学年の友だちと  
外遊びや しゅくだいをして  
毎日とっても楽しいよ

# 3月定例会の議案質疑等の内容

3月定例会(2月21日から3月16日まで開催)では、市長提出議案38件のほか、議員提出議案4件、請願1件を審議しました。5年度予算に関わる質疑・討論の主な内容は下記のとおりです。(その他の主な議案についての質疑・討論については4ページに掲載しています。)

## 姉妹都市交流

**問** 姉妹都市である韓国・江陵市との交流の現状は。  
**答** 姉妹都市交流は民間が主体であること、また、日本と韓国の情勢が決して平穏という状況ばかりではないため、行政としての交流を一旦中止とする意向を伝えてある。なお、民間交流については財政的支援を継続する。

## リフォーム助成金

**問** 住宅・店舗等リフォーム助成金について、断熱のための窓改修は適用されるか。また、さらなる制度の充実は。  
**答** 消費税を含む20万円以上の工事であれば対象となる。抽選を行うほどの人気があるため、5年度から予算を拡大し、より多くの人が利用できるよう改善していく。

## 中心市街地活性化

**問** 空き店舗対策事業補助金および空き店舗リノベーション補助金について、どのような効果を見込んでいるか。  
**答** 空き店舗対策事業補助金は、中心市街地の空き店舗への出店時に改装工事費の補助を行うもの。リノベーション補助金は空き店舗や空き家を大規模にリノベーションし、

商店街の活性化を促すとともにテーマ性のある町なみ形成の拠点施設として活用する目的で実施するもの。このほか空き店舗や空き家の借上料の増額も行い、3つの事業を合わせて貸したい人、借りたい人のマッチング、チャレンジシヨップとしての活用、創業支援の強化につなげられると考えている。

## サインモニュメント

**問** サインモニュメント作成業務委託料1500万円の内容は。  
**答** 秩父へ訪れる観光客に写真映えする撮影スポットを整備し、写真をSNS等で情報発信してもらい、さらなる誘客促進を図るため実施する。デザインは立体で、ローマ字での作成を想定しており、西武秩父駅前への設置を考えている。

## 御花畑駅ホーム緑化

**問** 御花畑駅ホーム緑化工事1265万円の内容は。  
**答** 御花畑という名称である

が、実際には周囲に花畑はなく、名称と現状のギャップを指摘する意見もある。2番ホームのフェンス前にメッシュパネルおよび自動給水機能付きのプランターを設置し、花の咲く、つる性の植物を植栽することでイメージアップを図る。

## 旧秩父東高校

**問** 旧秩父東高校活用基本構想策定事業委託料に関し、旧秩父東高校活用検討市民会議の答申の内容と基本構想策定事業の詳細は。  
**答** 答申の内容は、老朽化した公共施設の機能を集約し、複合化していく拠点として有効に活用し、ファシリテイマネジメントを推進することを望むというものであり、土地は老朽化した公共施設の機能移転先の候補地として積極的に確保し、建物については利活用について検討し、段階的に整備する事が望ましい、というものと認識している。基本構想策定事業については、既存の建物やエリア全体を検討対象に、市内の老朽化した

公共施設の機能集約、複合化の拠点として活用するにあたって、その全体像を示すための基本構想の策定業務である。

**問** 旧秩父東高筆界確認等業務委託料の内容は。  
**答** 構想の策定、県との協議や民間地権者との交渉を行う上で、境界の位置や土地の広さの確認を早い段階から行う必要があると考えている。さらに建築確認や開発行為に関する申請を行う際は、敷地の確定等が必要になることから、本業務委託により境界の確認、確定を行い、正確な測量図等の作成を行うもの。

## 大田中学校外壁改修

**問** 4年1月策定の市個別施設計画では、4年度から大規模改修の計画があるが、予算が外壁改修工事の計上のみとなっている理由は。  
**答** 一度に多額のコストをかけて全面的な改修を行うのではなく、屋根や外壁といった健全度の低い場所について、部分的な改修を適宜行っていく方が、財政状況等とのバランスを考慮した上で効果的であると考えている。必要な改修については、財政状況をみながら、今後も検討していく。



の様子(本庁舎4階)

通学定期購入補助

問 通学定期購入補助金1221万円の内容は。

答 従来から行っている、市内在住の高校生の通学におけるバス、鉄道の通学定期券の購入額を補助するもの。5年度は秩父地域外へ通学する場合は従来の補助額とし、地域内へ通学する場合は購入額の半額を補助することへ制度を拡充する。

高校魅力化プロジェクト

問 高校魅力化プロジェクト業務委託料の内容は。

答 地域おこし協力隊2人を高校魅力化コーディネーターとして雇用し、秩父高校における総合的な支援カリキュラムを充実させ、秩父高校の魅力化に資する業務を担っていただくことを考えている。

中津川地区土砂崩落

問 中津川地区土砂崩落対策事業の、5年度の事業内容は。

答 崩落現場の片側開通が5年8月頃とのことであり、中津川地区に居住する方々への支援および市営住宅に避難されている方々への支援を行うもの。

住民票等コンビニ交付

問 4年度に運用が開始された住民票等コンビニ交付システムについて、これまでの実績は。

答 4年10月からスタートし、1月までの交付実績は、住民票446件、印鑑証明書264件、合計710件である。

日野田保育所大規模改修

問 日野田保育所大規模改修工事設計業務委託料の内容とスケジュールは。

答 影森保育所と日野田保育所が7年度に統合する予定となっており、これに伴い日野田保育所の大規模改修工事を実施する予定。5年度に設計業務を行い、6年度に大規模改修工事を実施する。改修工事期間中は、日野田保育所の児童は影森保育所にて保育を行うことになり、7年度からは日野田保育所に全ての児童が通所することになる。

緑の少年団

問 緑の少年団活動助成金の内容は。

答 緑の少年団は、7年に開催される第75回全国植樹祭に向け、開催に向けた機運の醸成と、子どもたちに森林や身近な緑への理解を深めてもら



3月定例会本会議

討論

うための取り組みである。既に市内全小中学校21校が緑の少年団を組織、登録している。活動助成金は、苗木の育成、花壇の管理、除草活動、緑の募金など社会福祉活動などに活用していただく予定である。

賛成

5年度一般会計予算では、本市における福祉、教育、保健医療分野など、市民の皆様の日々の生活を支えるために欠かすことのできない重要な諸事業についての予算措置がなされている。

多くの質問や意見が議員各位から申し述べられた、サインモニメント作成業務委託料については、事業の詳細や進捗について、適宜、市議会にも情報の共有を図っていた

点とともに、設置する意図についての熟考や設置後の効果検証の実施を願う。

また、影森グラウンド多目的グラウンド改修工事3億2031万円については、多額の予算を割いての事業となる

反対

保育士や調理員など子どもにかかわる常勤者は正規職員とすべきであるが、会計年度任用職員としている。また、ケースワーカーが一人あたり90世帯を受け持ち、国基準を上回っており、早急に増員を

するよう指摘する。

また、安全性が低く、情報漏洩やサイバー攻撃など、その危険性が増す懸念はぬぐえないマイナンバーカードの申請・交付、利用拡大に多額を投じている。法的根拠もないまま情報連携の拡大には問題があると考え反対する。

賛成

令和5年度予算については、

本会議および各委員会にて審議され、質疑に対する詳細な答弁により、理解されたものと考えている。

当局におかれては答弁された内容に則り、予算を適正に執行すると共に、5年度以降改修費用が増大すると考えられる設計業務について、財政規律を遵守し、計画を進められるようお願いしたい。行政業務はデジタル技術を最大限活用し聖域を設けず、業務を適正化・効率化されることを強く願い、賛成する。

人事案件

公平委員会委員、固定資産評価審査委員会委員の選任および人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められ、市議会は次の方を適任と認め同意することに決定しました。

公平委員会委員

關根 昭文 氏

固定資産評価審査委員会委員

戸井田 修 氏

福原 隆夫 氏

小泉 真人 氏

山崎 克則 氏

人権擁護委員候補者

池田 和美 氏

小池 正一 氏

国民健康保険特別会計予算

問 健康マイレージ事業費59万9千円の内容は。

答 例年と同様の埼玉県コバトンマイレージ事業を行うもの。歩数計を使い楽しくウォーキングを続けることでポイントのため、抽選により賞品が当たる健康づくり事業である。

討論

反対

国保加入者は自営業の人や75歳未満の年金生活者、非正規労働者、フリーランスの人など、収入の少ない人が加入している。一般会計の繰り入れをし、保険料の引き下げが求められているが、税率の引き上げがされてきている。子ども均等割軽減も未就学児のみであり、対象年齢の拡大をするべきである。国に対しても、国庫負担を抜本的に増額することを求めることと、制度上問題があることを指摘し、国民皆保険の名にふさわしいものにするよう要望する。市民の負担を軽減するよう求め、本予算に反対する。



新年度予算以外の主な議案に対する質疑・応答

土砂等のたい積の規制に関する条例の一部改正

趣旨 無秩序な土砂等のたい積を防止し、もって市民の生活の安全の確保および生活環境の保全に寄与することを目的として、既存の規制を強化する等、所要の改正を行うもの。

問 他市の例で土砂たい積規制条例の中に周辺住民の同意を得ることを条件としている所もあるが、検討はしたのか。

答 周辺住民の同意については、現行では事前説明会を努力義務としているが、改正後は義務化する。事前協議を行う前に事前説明会等周知し、住民の同意を得た中で事業を行うということになっている。

問 措置命令と公表については。勝手に土砂を入れるなどし、市長から措置命令が出され、それに従わない場合には、事業者を公表する規定を追加した。

一般会計補正予算(第8回)

問 保育対策総合支援事業費補助金412万円の内容は。

答 児童の置き去りを防ぐため、送迎バスに装備が義務化される安

全装置の導入補助、GPSにより子どもの居場所が確認できる「子ども見守りタグ」導入補助、登園等の状況についてスマートフォンなどを活用し保護者からの欠席連絡を容易にし、職員間で確認・共有を支援するための管理システム導入補助を行う。

問 デジタル田園都市国家構想推進事業委託料1427万円の減額理由は。

答 減額理由は、受託事業者との契約が安価であったためである。

問 移住政策推進事業における移住推進事業委託料130万円の減額、移住促進事業助成金200万円の減額および移住支援金300万円の減額理由は。

答 移住推進事業委託料の減額理由は、移住推進イベント企画業務内容が当初の予定より減少したため。移住促進事業助成金の減額理由は、軽自動車購入費および空き家リフォーム等について助成する事業であるが、当初見込んでいた申請額に達しないため減額するもの。移住支援金の減額理由についても、同様に当初見込んでいた申請額に達しないため減額するものである。

問 移住者等の現状は。1月末現在で61世帯87人であ

る。また、移住相談件数やお試し居住者数については、3年度より増加している状況である。

問 防犯灯借上料1432万9千円の減額理由は。

答 市および町会が設置した3780灯の防犯灯をLED化する工事および105本の木柱を鋼管ポールに交換する工事であるが、完了が12月となったため、4月から12月分のリース料が不要となった。

問 疾病予防事業における、がん検診委託料について、各がん検診の費用がそれぞれ増減しているがその内容は。

答 胃がん検診委託料の増額については、集団検診における検診者数を当初250人と見込んでいたが、申込み者数が増加したことにより新たに150人分を見込むものである。子宮がん検診委託料の減額については、当初予算から集団検診と個別検診を合わせ、240人減少する見込みである。乳がん検診委託料の増額については、50人増を見込むものである。また、前立腺がん検診委託料の減額については、84人減を見込むものである。



意見書

3月定例会の最終日に、議員提出議案の意見書2件が提出され、審査の結果、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。内容については、次のとおりです。

帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

政府に対して、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、帯状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を強く求める。

知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書

政府に対して、国際的な知的障がいの定義や、自治体の負担等も踏まえた判定方法や基準の在り方の検討を踏まえ、知的障がい行政・手帳制度を、国の法律による全国共通の施策として展開することを強く求める。



3月定例会で審議した議案の結果

議案の件名	議決結果	会派ごとの賛否						
		市民6人	まほ5人	新政2人	公明2人	無会派 出浦	金崎	黒澤
専決処分 一般会計補正予算(第7回)	承認	○	○	○	○	○	○	○
裁判上の和解	承認	○	○	○	○	○	○	○
その他 字の区域の変更	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
土砂等のたい積の規制に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
手数料徴収条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例及び秩父市消防組織等審議委員会条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
個人情報保護法施行条例	原案可決	○	○	○	○	×	×	○
令和4年度補正予算 一般会計補正予算(第8回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
公設地方卸売市場特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
市立病院事業会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
下水道事業会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度予算 一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
公設地方卸売市場特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
駐車場事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
市立病院事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
下水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
人事案件 公平委員会委員(關根昭文氏)の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員(戸井田修氏)の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員(福原隆夫氏)の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員(小泉眞人氏)の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員(山崎克則氏)の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者(池田和美氏)の推薦	同意	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者(小池正一氏)の推薦	同意	○	○	○	○	○	○	○
請願 国に対し「防衛費2倍化反対、社会保障費の拡充を求める意見書」の提出を求める請願書	不採択	×	1/5	1/2	×	○	○	×
議員提出議案 帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
秩父市議会委員会条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
秩父市議会の個人情報の保護に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

市民：市民クラブ まほ：まほらぼ 新政：新政ちぢぶ 公明：公明党  
無会派：会派に属さない議員 ※議長は人数に含まれていない。

○：賛成 ×：反対 ○/○：賛成人数/会派人数

常任委員会の報告

総務委員会

3月定例会で付託された議案6件、請願1件について報告する。

◆専決処分 4年度一般会計補正予算(第7回)

○承認

◆消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

○定員が1050人から950人へ減員することにより、消防団活動に支障が生じないか。

○近年、分隊員の減少により、従来の分隊での活動が困難になったため、田村および上蔭田地区の分隊が統合したが、現時点では、各地区における消防団活動に支障はない。

◆特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例及び消防組織等審議委員会条例の一部改正

○以上2件は原案のとおり可決

◆個人情報保護法施行条例

○挙手多数により可決

◆4年度一般会計補正予算(第8回)

○ソサエティ5・0推進事業委託料について、2千万円を減額し、5年度にドローン購入を先送りする理由は。

○5年度になると、機体認証を行えばレベル4飛行(有人地帯の目視外飛行)が解禁になり、可能

となる機種が次々に登場する状況が見込まれており、その時点の最新機種を購入したいため。

○原案のとおり可決

◆5年度一般会計予算

○地域活性化起業人交流プログラム負担金560万円の内容は。

○現在3人の民間企業からの派遣者いわゆる起業人を受け入れているが、同事業に携わっていただくための起業人を1人増員する。

○影森グラウンド多目的グラウンド改修工事3億2031万円の工事内容は。

○人工芝化に併せて、排水設備の改修を行い、グラウンドの外周に、獣類の侵入を防止する防護柵と門扉を設置する。9月定例会で施工業者が承認された後に工事を開始し、6年3月中旬の完成を予定。人工芝化の総面積は9千平方メートル、11人制のサッカーコート1面。(8人制のミニサッカーコート2面分)人工芝は、流出しても環境負荷のかからない、ウッドチップ等の自然由来の充填材を採用する予定。最下部には、アスファルトコンクリートを敷設し基礎部分を強化、人工芝貼り替え時の経費削減対策を行う。

○挙手多数により可決

◆国に対し、「防衛費2倍化反対、社会保障費の拡充を求める意見書」の提出を求める請願

○挙手多数により不採択

まちづくり委員会

3月定例会で付託された議案15件について報告する。

◆字の区域の変更

◆土砂等のたい積の規制に関する条例の一部改正

○他の自治体の改正状況は。

○県外からの土砂等の搬入規制と罰則の強化であり、土砂等の搬入規制は県内では小鹿野町に続き2番目。罰則の強化は、違反行為と罰との兼ね合いを見直し、悪質な違反については相応の罰が適用される。秩父圏域内の他の自治体と比較して厳しい罰則としている。

○職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

◆手数料徴収条例の一部改正

◆4年度一般会計補正予算(第8回)

○上町街路整備事業は、上町中央通線の整備事業化が確定し進んでいるのか。

○事業認可に向けて、地方庁舎交差点から市立図書館前交差点までの電線共同溝の予備設計を県土整備事務所が予定している。

◆4年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第3回)

◆4年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第3回)

◆4年度公設地方卸売市場特別会計補正予算(第2回)

◆4年度下水道事業会計補正予算(第2回)

◆5年度一般会計予算

○合葬墓建設工事の内容について、基本的に聖地公園に墓のある方が入るといことだが、墓がなくとも入れてもらえないかとの要望もある。条件の見直しはあるか。

○収容規模は1万体を想定。工期は8月頃までに業者選定を行い、9月から2月までの工期を見込んでいる。条件の見直しは色々な関係が出てくるので検討していく。

○中央642号線旧秩父セメント跡地の道路新設工事の工期は。

○中央642号線は、秩父陸橋平面化事業に伴う国道140号迂回路整備に向け、県と市が連携して詳細設計を進めている。工事着工は5年の秋頃の予定で、最終工期は9年度予定。

◆5年度農業集落排水事業特別会計予算

◆5年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算

◆5年度公設地方卸売市場特別会計予算

◆5年度駐車事業特別会計予算

○マンホールの蓋について、ネーミングライツや企業広告など、収入にあてる発想はあるか。

○検討はしていないが、今後の課題として考えていく。

○以上15件は原案のとおり可決

# 文教福祉委員会

3月定例会で付託された議案14件について報告する。

◆専決処分 4年度一般会計補正予算(第7回)

○承認

◆特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

◆家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

◆放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

◆国民健康保険条例の一部改正

◆4年度一般会計補正予算(第8回)

◆国民健康保険特別会計補正予算(第3回)

◆後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)

○以上8件は原案のとおり可決

◆5年度一般会計予算

◆放課後児童対策事業について、待機児童の現況と民間学童保育室の空き状況は。

○5年4月からの入室希望者について、ほとんどの施設では待機児童はいない予定。影森小学校区で待機児童がいるが、新たに4月

から開設される民間学童保育室に空きがあることを周知している。

◆情報通信技術支援業務委託料について、ICT支援員の配置状況は。

○業務委託による専門的な支援員2人を配置しており、その他に会計年度任用職員4人を募集していたが、応募がなく配置できなかった。5年度は条件を緩和しながら配置をしたい。

◆補聴器購入費助成金について、これまでの助成実績は。

○2月末で39人の申し込みがあった。5年度は補助金額はそのまま、周知の方法を工夫していきたい。

◆5年度国民健康保険特別会計予算

○挙手多数により可決

◆マイナンバーカードを健康保険証として利用するためのカードリーダーの導入状況は。

○1月31日現在のカードリーダー申し込み状況は90・4%。郡市内で運用している施設は73件、38%である。

◆5年度後期高齢者医療特別会計予算

○挙手多数により可決

◆5年度介護保険特別会計予算

○挙手多数により可決

◆5年度市立病院事業会計予算

○以上2件は原案のとおり可決

## 一般質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。ホームページのインターネット録画中継で、ご覧いただけます。

<p>① 清野 和彦 (新政ちちぶ) p.8</p> <p>1 子どもや若者の社会的孤立への対策</p> <p>2 市立病院の将来</p> <p>3 入札契約制度の考え方</p> <p>4 指定管理者制度</p>	<p>⑥ 本橋 貢 (公明党) p.10</p> <p>1 妊娠・子育て伴走型相談支援事業</p> <p>2 市営住宅の今後の計画</p> <p>3 新たな市民サービス「書かない窓口」</p>	<p>⑪ 坂本 勝幸 (まほろば) p.13</p> <p>1 降雪による雪害対策</p> <p>2 今後の新型コロナウイルス対策</p> <p>3 夜間のライトアップ</p>
<p>② 小松 穂波 (新政ちちぶ) p.8</p> <p>1 ゲノム編集トマト苗無償配布の取り扱い</p> <p>2 ACP「人生会議」の取り組みと普及啓発</p> <p>3 横断歩道における手上げ横断の推進</p> <p>4 今後の中心市街地活性化事業</p>	<p>⑦ 高野 佳男 (まほろば) p.11</p> <p>1 違法な埋め土・盛り土問題への対処</p> <p>2 情報セキュリティ・マネジメント</p> <p>3 移住促進支援金制度</p> <p>4 小中学校における「置き勉」の是非 他</p>	<p>⑫ 大久保 進 (公明党) p.13</p> <p>1 AYA 世代の療養支援</p> <p>2 支え合い助け合う地域社会の構築</p> <p>3 子宮頸がんワクチン定期接種</p>
<p>③ 宮前 昌美 (市民クラブ) p.9</p> <p>1 “働きたいけど働けない” 方々への支援</p> <p>2 「地域おこし協力隊」の活動状況と今後</p> <p>3 市施設のインターネット (Web) 申込み</p> <p>4 国の少子化対策「伴走型支援」の具体策</p>	<p>⑧ 金崎 昌之 p.11</p> <p>1 市民意識調査を活かす</p> <p>2 登下校の安全・安心</p> <p>3 学力調査の事前対策</p> <p>4 観光施策の充実</p>	<p>⑬ 黒澤 秀之 p.14</p> <p>1 市民意識調査結果から見える市の課題</p> <p>2 7歳の交通安全対策</p> <p>3 長尾根バイパス整備事業の近況</p>
<p>④ 出浦 章恵 p.9</p> <p>1 学校給食費の無償化を</p> <p>2 保育士配置基準見直しと処遇改善を</p> <p>3 マイナンバー保険証利用は任意のはず</p> <p>4 吉田の不法投棄情報で事実を確認</p>	<p>⑨ 赤岩 秀文 (市民クラブ) p.12</p> <p>1 施政方針</p> <p>2 学校給食のアレルギー対応</p> <p>3 大滝地域の住民生活</p>	
<p>⑤ 浅海 忠 (市民クラブ) p.10</p> <p>1 再生エネルギー・省エネルギー設備導入促進</p> <p>2 企業誘致</p> <p>3 高校魅力化・市と県立高校との連携</p>	<p>⑩ 内田 均 (まほろば) p.12</p> <p>1 防犯体制の現状と強化</p> <p>2 旧東高再利用</p> <p>3 観光の問題点</p>	

# 市立病院の将来

**問** 市立病院の本館は築32年、南館は築42年、南館増築棟は22年を迎えている。病院の法定耐用年数は39年で南館はすでに超過し、本館はあと7年である。旧耐震基準の南館は平成12年度に耐震補強等改修工事を行っており目標使用年数は50年だが、この考えでもあと8年である。配管類の劣化によると推測される給排水設備の修繕が増えているが、全面改修は困難で、診療や患者の療養環境への影響が懸念される。施設の老朽化に加え、医療機器の高度化、療養環境の変化への対応が、構造上できないことが多くなっている。いつまでも市立病院を現況の施設のまま運営していくことは不可能であり、将来への構想を早急に策定する必要があるのではないかと。市長の考えは。

**答** 市の財政状況や病院の経営状況が厳しいことから、安易に大金を投じて市立病院を建て替えることはいかかなものかと考え、できるだけお金をかけずに必要最低限の経費で修繕や改修をして問題を改善するよう努めてきた。しかし、「はたして自分たちの子どもや孫

- ◎若年層の社会的孤立への対策
- ◎入札契約制度の考え方
- ◎指定管理者制度



100年後も秩父地域が暮らし続けられる地域であるために、決断を後回しにはしてはいけない

たちが、この秩父地域で安心して暮らしていくことができるだろうか」という思いになり、「もともと市立病院をパワーアップさせていく必要があるのではないかと」という考えが強くなってきた。なるべく早い段階で、総合的に今後の施設整備のあり方を検討する必要があると考えている。

新政ちちぶ  
清野 和彦  
きよの かずひこ



# アドバンス・ケア・プランニング(ACP) 愛称「人生会議」の普及啓発

**問** 市における「人生会議」の取り組みと普及啓発は。

**答** 人生会議とは、もしもの時のために、ご本人が望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い共有する、国が進める取り組みであり、現在、県の事業として郡市医師会ごとに「人生会議」の講演を行う医師を「ACP普及啓発人材バンク登録制度」に登録し、普及啓発を行っている。秩父地域においては、「ちちぶ在宅医療・介護連携相談室」が1市4町と連携し、登録医師による講演会や、ちちぶエフエムによるラジオ放送、医療介護福祉職対象の研修会などにより普及啓発に努めている。6年度から市町村事業となることから、引き続き普及啓発に取り組んでいく。

●ゲノム編集トマトの苗無償配布の取り扱い

**問** ゲノム編集トマト苗の無償配布申し出の有無および申し出があった場合の対応は。

**答** 現時点で教育委員会、福祉部に無償配布に関わる情報は入っていない。無償配布の申し出があつ

- ◎今後の中心市街地活性化事業



ちちぶ圏域ケア連携会議で「ACP(人生会議)」について講義する市立病院の加藤寿医師

**問** 横断歩道の交通安全対策 手上げ横断の推進は。

**答** 交通安全教室や各種広報媒体を活用し、「手上げ横断」の重要性を説明している。警察署や交通安全推進団体とも連携しながら取り組む。

新政ちちぶ  
小松 穂波  
こまつ ほなみ





# 国の少子化対策に伴う「伴走型相談支援」の具体策



市民クラブ 宮前 みやままみ 昌美 まさみ

**問** 国の子育て支援政策に伴い、各自自治体を取り組まなければならない「伴走型相談支援」は、妊娠時から出産・子育てまで同じ保健師や助産師が、子育て世帯の相談にのる事業で、新生児1人に付き10万円の経済的支援とパッケージになった相談支援が、各自自治体に任されている。市の現在の取り組みと今後の充実点、またパパ教育についての取り組みは。

**答** 妊娠届け出時に保健師が面談を行い、健康状態や家庭状況等を把握している。また、「市の子育てガイド」を渡し、出産育児についてのサポートや、使えるサービス等を確認している。希望者に妊娠8か月時に面談を実施しており、オンラインでも実施予定。また、国の「イクメンプロジェクト」から抜粋した資料を提供し、夫婦一緒に読みながら、出産・育児の理解を深めていただくよう働きかけを行う。

**問** 病中病後児保育施設の建設は困難と思われるため、代替案としてどのような支援が考えられるか。子どもの看護が重なり有給休暇を使い切ってしまった場合や、パ

- ◎ 地域おこし協力隊の活動状況
- ◎ 市施設のWeb申込の取り組み



保健センターの「両親学級」。9割が夫婦そろっての参加。保健師の指導のもと、初の沐浴体験。

**答** 病児保育施設の必要性は十分に認識しているものの、設置に向けては大変厳しい。シルバー人材センターの「病後児預かり保育事業」として5年度から料金の一部を市が補助し、1時間600円を利用できる。市から企業への助成金制度については、関係部局と今後協議検討を行っていきたい。

# 市民の安心・安全は守れるのか



出浦 いづみ 出浦 あき恵

**問** 吉田地内で不法投棄の実態を確認。土砂堆積なのかわからないが市民から寄せられた情報では、吉田地内のある所で警察も立ち合いのもと、穴を掘って見たら何か悪い物が出てきたという事だが、それは事実か。市はこの情報を把握しているのか。把握しているのであれば、答えられる範囲でよいので聞きたい。

**答** 市でも把握しているが、土砂堆積ではなく産業廃棄物の不法投棄に関する事案。4年11月、吉田地内で建設廃材と思われるものが山積みになっているとの情報があり、県環境管理事務所に通報のうえ警察と共に現地を確認したところ、同敷地内に掘られた穴に建設廃材が埋められていることが判明した。

## マイナ保険証利用をしない人への罪か

**問** 国は4年10月からオンライン資格確認を導入した医療機関で、マイナ保険証利用の人の初診負担は6円、現行の保険証利用者は12円加算される差別的負担増を導入し、省令改正で5年4月以降は、

従来の保険証利用者へさらに6円を上乗せして18円の自己負担を求めている。市民も負担増となっている。マイナンバーカードは任意のはずだが、差別的負担増とはいかなものか、見解を聞きたい。

## カーボンゼロ社会の推進

**問** 今後どう進めていくのか。

**答** 脱炭素化に向け10か所の市有施設に太陽光発電設備の設置規模や導入効果を検討・検証調査を実施。FM関連計画等との整合や施設所管課と調整し導入を推進する。



マイナンバー保険証で本人確認をするカードリーダー

# 再生エネルギー・省エネルギー設備導入促進

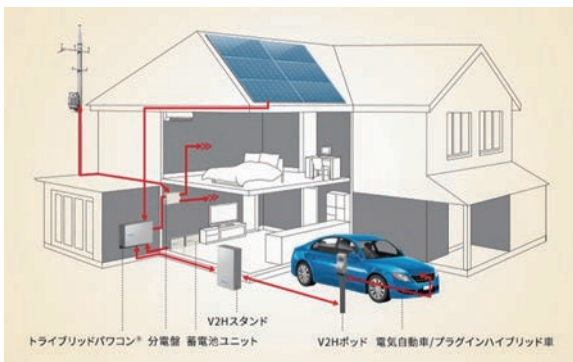


市民クラブ 浅海 忠

**問** 施政方針に「カーボンニュートラルによる脱炭素地域を目指した取組を推進する。」とあったが、市の現況は。国や県では多くの助成制度を設けており、本庄市では、住宅用太陽光発電システム設置補助金、住宅用エネルギーシステム設置補助金、住宅省エネ改修補助金、事業所用エネルギーシステム導入補助金などの制度がある。資源エネルギー庁のフィット認定件数は、4年9月時点で市内約2450件とのこと。設置から10年が経過し、卒フィットで売電価格が安価になる。安価で売電するのでなく自家消費できる仕組みを作るための支援はできないか。

費ができることから、再生電力の地産地消や災害時のレジリエンス強化の観点からも非常に有効と考える。市では、「地域脱炭素ビジョン」の内容に沿い、産業、民生、運輸等のあらゆる部門において各種施策の検討を進めたい。「一般家庭における再生エネ・省エネ設備導入」を促進する施策を進める事も非常に重要であると考えている。

**答** 一般住宅の太陽光発電はフィット価格による10年の売電期間が2年11月から順次終了、卒フィットを迎えている。近年の世界情勢の影響等により電力価格が高騰し、家庭の家計を圧迫している。再生エネ設備で発電した電力を自家消費することで電気料金による負担軽減につながり、その電力を蓄えられる蓄電池の導入は、昼間に発電した電力を夜間に使うことができるため、無駄なく自家消費



自然エネルギー活用の一例 (太陽光発電・蓄電池・電気自動車)

◎企業誘致  
◎高校魅力化・市と県立高校との連携

# 新たな市民サービス「書かない窓口」



公明党 本橋 貢

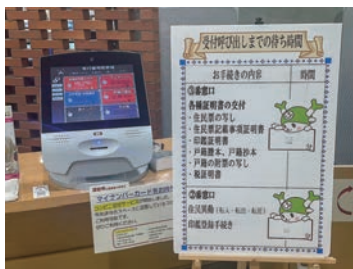
**問** 「書かない窓口」とは、市の窓口で証明書等の請求や届出を行う際に、身分証等を提示すれば申請書を書かなくても、職員が必要な情報を入力し、証明書が印刷されるシステム。申請者の負担軽減、職員の業務効率も上がる。デジタル弱者の高齢者、障がい者にこそ必要な「書かない窓口」導入の考えは。

円の申請案内を送付した。**問** 0歳から2歳児の保育料無償化の拡大について、第1子を無償化すると年間約8200万円、第2子が年間約3600万円と試算されるとのことだが、財政状況等考え、第2子の保育料無償化についての考えは。**答** 市の経営方針においても、子育て支援の充実を、最重要と位置づけている。市全体の財政状況を鑑み、国の動向も注視しながら、検討を考える。

**答** 「書かない窓口」を導入することは、住民側だけでなく、処理時間の短縮にもつながり、結果的には行政側にもメリットがある。自治体が導入する際には、複数のシステムから選択できるように指示するとの国からの情報もある。先行自治体の事例を参考に、今後導入に向けて着実に取り組む。

## 妊娠・子育て伴走型相談支援事業

**問** 妊娠・出産時の経済支援について「出産・子育て応援交付金」の活用は。**答** 専決処分により、1月20日から事業を開始。第1弾として、182人へ、第2弾として171人へ、出産・子育て応援ギフト10万



「書かない窓口」の受付番号発券機と光学式文字読取機 (深谷市役所)



◎市営住宅の今後の計画

# 違法な埋め土・盛り土 問題に断固たる対処を

まほろば 高野 佳男  
たかの よしお



**問** これまでの取り組みの状況は。  
**答** 5年2月末までの時点で「土砂たい積110番」には4年4月の開設以来17件の通報が寄せられ、12月以降では3件増加。その都度現地調査による確認を行っているほか、毎週パトロールを実施。警察や関係機関とも連携し、取り締まりの強化に努めている。

## ●情報セキュリティの管理

**問** 近年、官公庁の情報システム調達で特定業者に発注が集中し、業者依存が高まる結果、ユーザー側の安全管理に問題が生じる懸念が指摘されているが、市の状況は。  
**答** 全市民の個人情報等を含む基幹系システムは公募によるプロポーザル方式で業者を選定し、6年契約で開発と運用を委託している。特定業者への依存を避けるため、地域情報プラットフォーム標準仕様を採用し、複数業者の参入が可能な体制を構築している。社会の急速なデジタル化に対応するため、今後IT関連の専門性を備えた内部人材の確保と育成にも努めたい。

## ●小中学校での「置き勉」

**問** 近年教科書の大型化やタブレット端末の導入が進み、小中学生が通学時に携行する荷物の重さは過去15年で約2倍（小学生5kg、7キロ、中学生11キロ）になり、身体発育への影響や夏季の熱中症への懸念がある。文部科学省では5年前に学用品等の一部を学校に置く「置き勉」を認める通知を发出し、児童生徒の負担軽減への配慮を求めているが、市の現状は。  
**答** 学校毎に置いてよい物のリストを作成し、持ち帰る荷物が多いときは分散するよう指導している。



15年間で2倍の重さに

# 市民意識調査を活かす

かなさき まさゆき  
金崎 昌之



**問** 前回（2年1月）と今回（4年9月）の調査結果の比較から見える変化は。  
**答** 満足度が全体的に若干低下している。要因は、コロナ禍やウクライナ情勢、物価高などが企業や家計に影響を及ぼし続けていることによる一種の閉塞感と推測。

## ●観光施策の充実

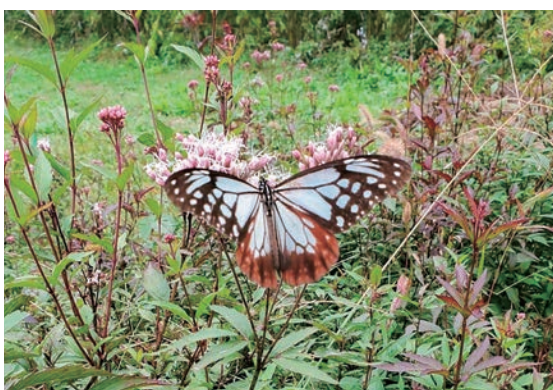
**問** 今ある観光資源を活かす充実と、新たな観光資源の開発による充実とがある。それぞれ「和銅の歌」の音楽碑と、渡り蝶「アサギマダラ」でまちおこしをとの提案をいただいているがどうか。  
**答** まずは、市民団体の活動の側面支援から取り組んでいきたい。

## ●登下校の安全・安心

**問** 「刑法犯20年ぶりに増加」との報道のもと、保護者の一番の心配は登下校の安全だと考える。長距離通学者の安全・防犯対策は。  
**答** 全ての小学校でスクールガードリーダーを任命し、学校応援団等に見守りをお願いしている。

## ●学力調査の事前対策

**問** 「行き過ぎた対策で調査の意義が損なわれる事態が生じた」と



遠く沖縄・台湾からも渡ってくるというアサギマダラ

# 大滝地域の住民生活



市民クラブ 赤岩 秀文  
あかいわ ひでふみ

**問** 2年2月28日に開店したファミリーマート道の駅大滝温泉店は、コンビニと特産品販売を行う店舗となっている。コンビニを含めて買える物ができる小売の店舗は大滝地域で2軒となり、今や地域の方たちは観光で訪れる方々にはなくてはならない重要な施設になっている。コンビニ開店までの経緯とフランチャイズ契約の期間、コンビニに対する住民の反応はどうか。

**答** 設置の経緯は、大滝地域で住民に実施したアンケート調査により、買える物ができるコンビニ設置を切望する声が上がったため、国が進めていた事業の一環として設置することとなった。契約期間は10年である。住民からは、コンビニがあつて良かった、大変助かるなどの声が寄せられている。

**問** 大滝地域の住民の間では、コンビニが閉店するのではないかの懸念がされているが、存続できるか。公共施設では、赤字の施設もある。コンビニは大滝住民の生活には欠く事ができない施設である、改めて存続をお願いしたい。

**答** コンビニを設置するにあたり、

施設の改修費として約4359万円かかっている。また、経営状況としては2年度818万円の赤字、利用者はのべ9万8800人、3年度345万円の赤字、利用者はのべ11万4800人、4年度は12月末時点で3万円の赤字、利用者は9万4400人で3年度を上回っているが、建設コスト、経営状況をみながら今後の経営を検討していく。



住民生活を支えるファミリーマート道の駅大滝温泉店

◎施政方針  
◎学校給食のアレルギー対応

# 秩父市観光の問題点



まほろば 内田 均  
うちだ ひとし

**問** 道の駅ちちぶに設置されている「ちちぶの水」は、観光客や市民に喜んでいただいているが、採取口にレンガが入れられていたり、垂れ流しの状態は良くない。以前、蛇口の栓も盗まれていると聞くが、防犯上の対策は。

**答** 採取口にレンガが入れられていたというのを伺い、驚くとともに大変残念に思う。衛生上、防犯上の対策が必要だと考える。道の駅職員の巡回・防犯カメラ設置位置見直しについて検討する。また、節水策については、どの様な対応策が良いか研究したい。

**問** 羊山公園「芝桜の丘」の雑草対策は。特にスギナがボランティアの人たちを悩ませているが、今後の対策は。

**答** 機械を使つての除草が難しいため、ボランティアの人たちには感謝している。5月に入るとスギナが伸び、芝桜が見えない状態になる傾向があり、4年度は5月に入った段階で入園料を無料とした。エリア分けし、ローテーションで雑草対策と併せた土壌改良を行っている。限られた予算の範囲内ではあるが、きれいな芝桜をお楽し

みただけできるよう引き続き効率的な維持管理に努める。

## 防犯カメラ設置補助事業

**問** 5年度から補助を行うとのことだが詳細は。

**答** 現在、補助金交付要綱を策定している段階だが、補助率3分の1、上限2万円を考えている。家庭における防犯カメラの設置・普及により地域の目を増やすことで、安心安全なまちづくりに繋げたい。



防犯対策が求められる道の駅ちちぶの「ちちぶの水」

◎旧東高再利用

# 秩父市内の降雪による 雪害対策



まほろば 坂本 勝幸  
さかもと かつゆき

**問** 全国各地で降雪の影響による停電が発生していたが、市の対策は。

**答** 大雪による停電等の予防対策は、元年9月の台風の後、東京電力パワーグリッド株式会社と連携し、停電予防のための伐採に取り組んでいる。電力供給のバックアップがない1系統地域において、災害避難所や、水道など市の重要施設等までの電線と、途中にある電力設備周辺等を対象とした山林の危険木や不良木等の伐採を2年度から4年度まで森林環境譲与税を活用して実施しており、大雪に備えても大変有効な対策だと考えている。また同社とは広範囲の長時間停電が発生、または発生する恐れがある際に、早期復旧のために、相互に協力する協定を締結している。円滑な復旧作業のために、今後も連絡体制を維持していく。市民には、停電に関する被害情報や復旧見込みなどの情報を防災行政無線や安全・安心メールにて周知し、不安解消に努める。

**問** 各町会へ貸与されている小型除雪機の活用状況は。

**答** 2月10日の降雪の際に、市内15町会で小型除雪機を活用し、除

雪作業を行っている。市では小型除雪機を安全に利用していただくよう、説明会等を実施し支援体制を継続して行く。

## ●今後のコロナウイルス対策

**問** 二十歳のつどいの式典、小中学校卒業式でのマスクの着用は。

**答** 4年度の二十歳のつどいの式典は一部制で開催。今後も一部制を基本に開催方法を検討していく。小中学校の卒業式では児童生徒、教職員はマスクを外す事を基本としている。



各町会へ貸与されている小型除雪機

# AYA世代がん患者への 自宅療養者支援



公明党 大久保 進  
おおくぼ すすむ

**問** 若い世代のがん患者への自宅療養者の公的サービスについて市の考えは。

**答** 在宅療養を選択する場合、国の制度のはざまになっており、使用できるサービスや支援がないことと在宅療養のハードルが高くなっていることも考えられる。国や県へ支援の要望をするともに、現状やニーズ等の把握に努め、市としての支援の方法についてどのような対応ができるか考えていく。

## ●支え合い助け合う地域社会の構築

**問** 食品等の宅配サービスや地域をめぐる移動販売カーを進めていくべきだが現状は。

**答** 宅配サービスは、市内のスーパー等数社が行っており、事前に商品注文すると、自宅で商品を受け取ることができる。移動販売カーは、現在把握しているものが2社、その中で「とくし丸」を運行している(株)矢尾百貨店と協定を締結し、高齢者・障がい者等の見守り活動を行っている。

**問** 自治体、介護施設、スーパー等と連携し、送迎や店内での買い

物を安心、安全にするサポートは。  
**答** みやのかわ商店街振興組合の「ボランティアバンクお助け隊」の買い物代行支援、NPO法人が行っている福祉有償運送がある。

## ●子宮頸がんワクチン定期接種

**問** 定期接種の状況は。

**答** 積極的な勧奨を再開し、対象者へ、子宮頸がん予防ワクチンをよく理解した上で接種を検討いただくよう、ワクチンの説明書と市が作成したお知らせを個別に通知している。



子宮頸がんワクチンのリーフレット

# 市民意識調査結果から見える市の重点課題は



黒澤 秀之  
くろさわ ひでゆき

**問** 4年9月に実施した市民意識調査については、当市に生活するうえで何が重要で、どのくらい満足しているのかを計るものである。言い換えると、市民目線から行政サービスの問題抽出を行ったと言ってもよい。今回の結果を踏まえ、総括するどのように考えるのか。

**答** 医療体制の整備、市立病院の充実、雇用の促進、労働環境の充実の4項目が重要度において上位4位以内となっている一方、満足度は最下位から4位以内となっている。この4項目については、重点的に改善を検討する必要があると認識している。

**問** 自由記述欄の内容については、忌憚のない貴重なご意見であり、全庁、全職員が共有し、今後の市政運営に活かしていく。

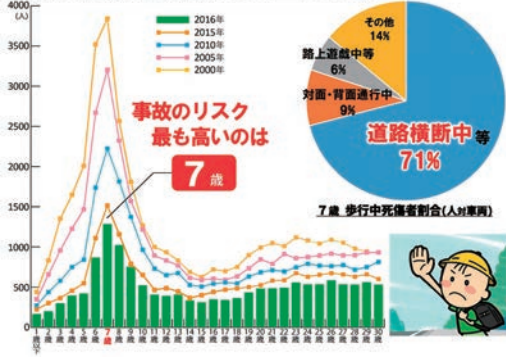
**答** 市民生活課から、毎年、市内小学校に交通安全教室の実施を要する。

請しており、警察と連携して交通安全教育担当指導員を派遣している。低学年には道路の安全な歩行および横断の仕方など、模擬道路での歩行練習を含めて基本的な交

**問** 交通事故の大半は、道路横断中で車との事故である。道路を安全に渡るルールと車を運転する側のマナーの両面を向上させる取り組みが重要である。先進自治体の取り組み事例を参考にして交通事故撲滅に努めていただきたい。

**答** 今後も取り組みを強化していく。

歩行中の交通事故の死傷者数(2000~2016年)



※各日、午前10時開会予定です。  
※議場は、本庁舎の4階です。  
※日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合があります。

日程	議事
5月31日(水)	開会、議案説明
6月6日(火)	議案に対する質疑
7日(水)	総務委員会
8日(木)	まちづくり委員会
9日(金)	文教福祉委員会
13日(火)	一般質問
14日(水)	
15日(木)	
21日(水)	委員長報告、採決、閉会

## 6月定例会の予定

市議会では、本会議の様子をインターネットの録画中継にて配信しています。  
パソコンのほか、スマートフォンやタブレットを使って、いつでも好きなときに見ることができます。  
ぜひ、ご覧ください



インターネットで  
議会議録中継が  
ご覧いただけます

## 編集後記

今年の冬から春にかけてはスギ花粉が非常に多く飛散し、花粉症の人にとっては大変つらい季節だったことと思いますが、本号が発行される頃には、風薫る初夏の爽やかな陽気になっていることでしょう。

3月定例会では、令和5年度予算を主要な議案として審議したほか、13人の議員が一般質問し、市政に対して活発な議論を行いました。今年度は関東大震災(大正12年9月)発生から100年経過の年となります。今後も10年に一度、あるいは50年に一度といったさまざまな自然災害が発生する可能性が考えられますが、地域と市民が一体となり、災害に強い秩父市となるよう努力していきましょう。

## 編集委員

- 委員長 本橋 佳男
- 副委員長 高野 章恵
- 委員 出浦 章恵
- 黒澤 秀之
- 坂本 勝幸
- 清野 和彦
- 宮前 昌美
- 高野 昌美
- 浅海 忠

令和5年3月 坂本 勝幸 記